地域連携推進会議議事録

(1)参加者　(民生児童委員)・(税理士)・(利用者の家族)・(利用者)・(施設関係者)

(2)日時　令和７年８月19日(火)　13時３０分～１４時３０分

(3)開催場所　グループホーム和音

施設関係者がこの会議の趣旨をのべ、法人のグループホームの現況を説明した。次に各自の紹介を行った。

利用者　グループホームでの暮らしと希望を聞く。入浴は毎日しており、食事はおいしい。お風呂については希望がありそうだったがいつも一番に入浴しているのでそれ以上のことは出てこなかった。

家族　家族からはグループホームで泊まるのを楽しみにしている。家での生活とは本人は違い早く就寝している。家の就寝時間は午前３時に寝るこだわりができている。

家での入浴は母親と入っているが、グループホームでは自分ひとりで入っているので時間を気にせずに入っている。７月に入居となったので母親は週に２回から３回はすこしゆっくり過ごしている。本人の帰宅時間や朝の準備がなくな

り、時間に余裕が出てきている。

民生委員　日常生活の金銭管理を長年していた一人で４０人を担当していた。また、親族の成年後見もした経験がある。

この建物は新しいし、きれいなので近所の人が災害時に避難してくることも考えられる。３年ほど前に民生委員として避難困難者の調査を行ったが調査結果について何も報告がない。調査が役に立ったのかどうかは気になる。障害・高齢者+の人の避難については体育館ではむつかしいし、今の時期の冷房機器は全部の体育館で設置できていない。

事務　土砂災害での避難は、災害に登録している人が社会福祉法人の施設に避難をした実績がある。

福祉避難所の契約は市と社会福祉法人で行っている。

八尾市全体での地震などの場合は想定していても困難状況である。

知的障害の人と親との関係は個別で色々な考え方がある。いつかは離家するが家族の考え方で「自分の元気なうちは」との考え方もある。

民生員　家族信託をしたことがあるが親族で信頼できる人がいる場合は有効な手段と思う。成年後見もしたが融通が利かない場合がある。本人の利益が優先

事項となり裁判所に判断をしてもらう必要がある。

事務　見守り、任意後見、家族信託、遺言を有効に使うことで財産については有効なものとなるが専門性もあり勉強が必要になる。

管理者　次回は見学をしていきたいので日程を調整をしていきたいと考えます。

今回はありがとうございました。また、連絡をさせていただきます。